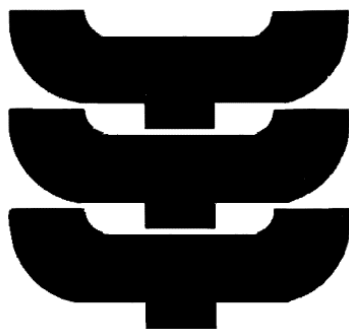


令和7年度

久留米市文化財専門委員会



◆ 日 時 : 令和7年7月11日(金) 14:00～

◆ 会 場 : 久留米市庁舎3階 308会議室

市民文化部文化財保護課

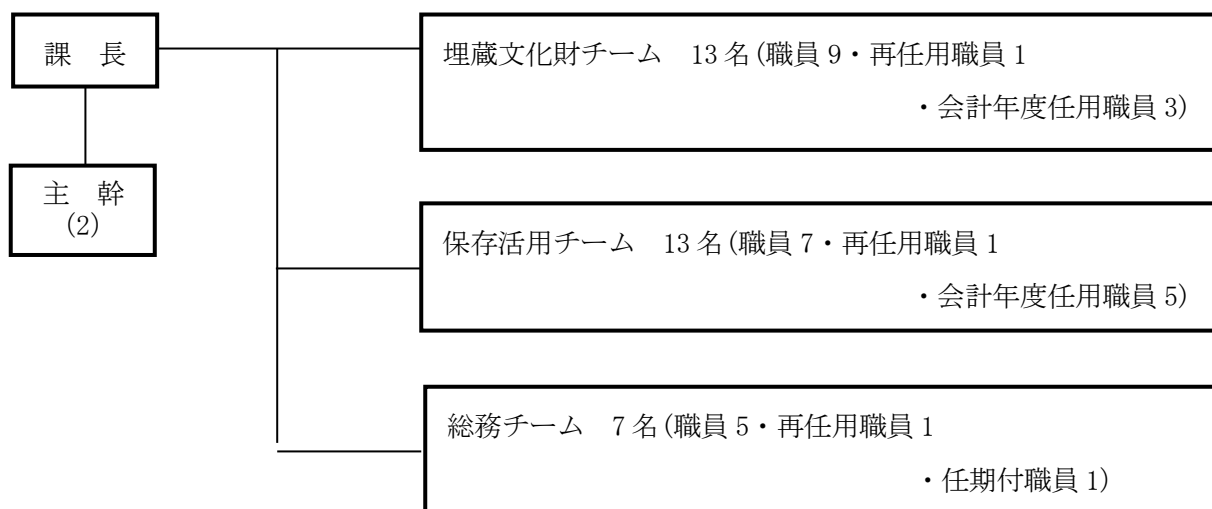
# 令和 7 年度 久留米市文化財専門委員会

## 次 第

1	開会	
2	部長挨拶	
3	会長・副会長の選任	
4	部会長の選任	
5	報告	
	Ⅰ．文化財保護課の組織と業務概要	………… 1
	Ⅱ．文化財の指定・登録	………… 5
	Ⅲ．令和 6 年度の事業報告	………… 8
	Ⅳ．令和 7 年度の事業概要	…………16
6	閉会	

## I. 文化財保護課の組織と業務概要

### 1. 組織



### 2. 事務分掌

- (1) 文化財の保護及び活用に関すること。
- (2) 文化財の指定及び管理に関すること。
- (3) 文化財専門委員会に関すること。
- (4) 文化財関係団体に関すること。
- (5) 埋蔵文化財に関すること。
- (6) 埋蔵文化財センターに関すること。
- (7) 収蔵館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。
- (8) 文化財収蔵資料審議会に関すること。
- (9) 収蔵館の維持管理に関すること。
- (10) 博物館の建設準備に関すること。
- (11) 歴史公園に関すること。
- (12) 坂本繁二郎生家に関すること。
- (13) 久留米市文化財保存活用地域計画協議会に関すること。

### 3. 業務概要

文化財保護法をはじめとした関係法令に基づき、久留米市文化財保存活用地域計画に定めた方針に従いながら、久留米市に所在する歴史遺産の適正な保存と、その活用に努めている。

また、歴史遺産を地域資源として捉え、市民が歴史や伝統を身近に感じ、親しみ、暮らしに活かす機会を提供することで、文化財保護についての市民意識の醸成や、歴史遺産を活用したまちづくりなど、地域の活性化と文化の継承に取り組んでいる。

さらに、「公益財団法人有馬記念館保存会」、「公益財団法人久留米絣技術保存会」を所管し、それぞれの定款に定められた目的の達成に尽力している。

## **（１）文化財を守り伝える**

- ①歴史遺産の保存と活用の調和を生み出す仕組みづくりに取り組んでいる。
- ②歴史遺産の把握と調査・研究に努めている。
- ③歴史遺産の活用に関し、学校教育・社会教育における活用、まちづくり・地域振興への活用、観光振興への活用に取り組んでいる。歴史資料の整理・保管と調査・研究のため、文化財保護課が所管する施設を生涯学習・教育活動の場として有効活用する。
- ④埋蔵文化財の発掘調査の迅速化に努め、調査成果の公表のため報告書の刊行を行う。また開発に先立つ事前確認において調整を行い、遺跡の現状保存に取り組んでいる。
- ⑤未指定を含む有形・無形・民俗文化財やその他の文化財の積極的な調査と保存・活用に努めるとともに、記録の整理と活用に取り組んでいる。

## **（２）文化財に親しむ**

- ①市民の意識の高揚を図るため、文化財の周知、文化財保護の啓発・普及に努めている。
- ②六ツ門図書館展示コーナーでの企画展等の開催、地域の歴史を学ぶ出前講座、学校の総合学習の時間における体験などにより、地域に根ざす文化財の学習と文化財に親しむ機会の提供に努めている。
- ③市民の文化財保護活動の充実、促進を図るために、文化財保護団体等への活動支援を行うとともに、筑後川遺産を活用した市民との協働のまちづくりを推進している。
- ④市民が文化財に親しみ理解することができるよう、説明板等の整備や歴史のまち久留米ストーリーシート等一般向けの印刷物作成に取り組んでいる。
- ⑤歴史資料等の活用に努めるため、企画展等を開催するとともに、市民からの問い合わせへの回答や資料貸出等に、収集資料を活用している。

## **（３）文化財を暮らしに活かす**

- ①筑後国府跡や高良山神籠石などの史跡の保存を図り、環境整備を進めるとともに、市民への地域の歴史についての学習、小中学校の野外学習やレクリエーション、憩いの場として史跡の活用促進にも努めている。
- ②市内に現存する歴史的建造物などを調査し、貴重な物件は文化財として指定・登録等を行い、

必要に応じて修理・復元を行いながら、市民の暮らしの中で、地域学習や生涯学習などに活かすとともに、地域資源として活用を図っている。

◎主な事業の概要

事業名	事業概要	予算額 (千円)	予算額 (千円)
		令和6年度	令和7年度
<b>歴史ルートづくり事業</b>	市内の豊かな歴史・文化の保存継承と歴史遺産の地域資源としての活用のため、地域固有の歴史的なストーリーを整理し、筑後川遺産制度を活用しながら、歴史ストーリーをまとめたストーリーシートの作成やイベント実施による情報発信を行う。また、拠点となる歴史遺産の管理や基礎調査を継続して実施する。	計 4,505	計 4,805
<b>筑後国府跡歴史公園整備事業</b>	史跡筑後国府跡は、律令期における筑後国の中心となる古代都市で、久留米の街づくりの原点である。この古代都市の歴史的・文化的価値を将来に亘って継承することを目的に公有化を進めている。また、公有地の整備を推進し、整備後は市民活動や地域資源活用の拠点施設として活用を図っていく。	計 209,551	計 146,441
<b>歴史資料保存活用事業</b>	地域文化を守り、継承するため、歴史資料の収集と適正な保存管理を図っている。 また、六ツ門図書館展示コーナーにおいて常設パネル展示、年2回の企画展を行っている。このほか、「新収蔵資料紹介コーナー」を設け、新たに収蔵した資料の中から、毎月テーマを設けた収蔵資料の展示公開を行っている。	計 10,855	計 8,287
<b>発掘調査事業</b>	国民の共有財産である埋蔵文化財について、開発等により現状保存措置がとれない場合、記録保存のための発掘調査を行っている。出土遺物や発掘調査で得られたデータや資料の整理を行い、報告書を刊行している。	計 152,210	計 137,259
<b>埋蔵文化財センター事業</b>	発掘調査に伴う出土品や記録類を集中管理している。市民の多様な文化的活動の展開を広げるための支援事業等を実施している。収蔵資料の整理を行い、適正な保存管理を図っている。	計 2,514	計 2,859

歴史的建造物保存整備事業	市内に残る建造物の歴史的価値及び保存・修理の必要性についての調査や、経年による腐食・老朽化や自然災害等の被害を受けた建造物を緊急に調査し、必要に応じ修理・復元を行う。	計 5,845	計 2,743
史跡等環境整備活用事業	市民が歴史に親しみながら憩う場として、史跡等を適正管理し、地域の特性を生かした「歴史の広場」として整備を進めながら、まちづくりの素材としても多くの場面での活用を図っている。	計 16,873	計 20,232
文化財保護団体等育成事業	建造物や美術工芸品など有形文化財の管理団体（11 団体）、祭りなど無形文化財の保護団体（9 団体）、および郷土史研究会（3 団体）に対して補助金を交付し、文化財の保護を図っている。	計 1,012	計 1,217
坂本繁二郎生家活用事業	久留米城下町に唯一残る武家屋敷である坂本繁二郎生家（市指定文化財）を保存・活用し、後世へ伝えるために、適正な運営と効果的で幅広い活用事業を行っている。	計 287	計 173
有馬記念館活用事業	有馬記念館の収蔵資料を保存・活用し、かつ久留米市教育委員会所蔵資料などと合わせて、久留米の江戸時代や郷土の歴史に関する情報を公開展示している。平常展に加え、年 1 回の企画展を実施している。	計 9,787	計 9,882
文化財施設維持補修事業	収蔵資料の保存及び施設の適切な維持管理のため、必要な施設の設置、改修または補修を施すことで、文化財の活用を図っている。	計 7,098	計 0

## Ⅱ. 文化財の指定・登録

### 1. 指定文化財の状況―指定・登録状況―

令和6年度は新規の県指定文化財（有形文化財）指定1件、これに伴う市指定文化財（有形文化財）解除1件、市指定文化財（有形文化財）2件が指定された。令和7年5月30日現在で、国指定文化財28件、県指定文化財43件、市指定文化財107件、国登録文化財15件、総計193件である。

久留米市内の指定・登録文化財一覧表

指定 種別	総 数	有形文化財										無 形 文 化 財	有 形 民 俗 文 化 財	無 形 民 俗 文 化 財	史 跡	名 勝	天 然 記 念 物	選 定 保 存 技 術	登 録 文 化 財
		総 数	建 造 物	絵 画	彫 刻	工 芸 品	書 跡	典 籍	古 文 書	考 古 資 料	歴 史 資 料								
総 数	193	85	22	11	18	7	2	0	8	12	5	1	31	10	24	1	26	0	15
国	43	13	3	3	4	0	2	0	1	0	0	1	0	1	10	0	3	0	15
県	43	23	8	4	3	3	0	0	2	3	0	0	5	2	6	0	7	0	0
市	107	49	11	4	11	4	0	0	5	9	5	0	26	7	8	1	16	0	0

(令和7年5月30日)

### 2. 新規に指定された文化財

(1) 小川文書（県指定有形文化財）

指定年月日：令和7年3月28日

所在地の場所：久留米市諏訪野町1830番地6

所有者の氏名または名称：小川区

時代：中世

区分：有形文化財（古文書）

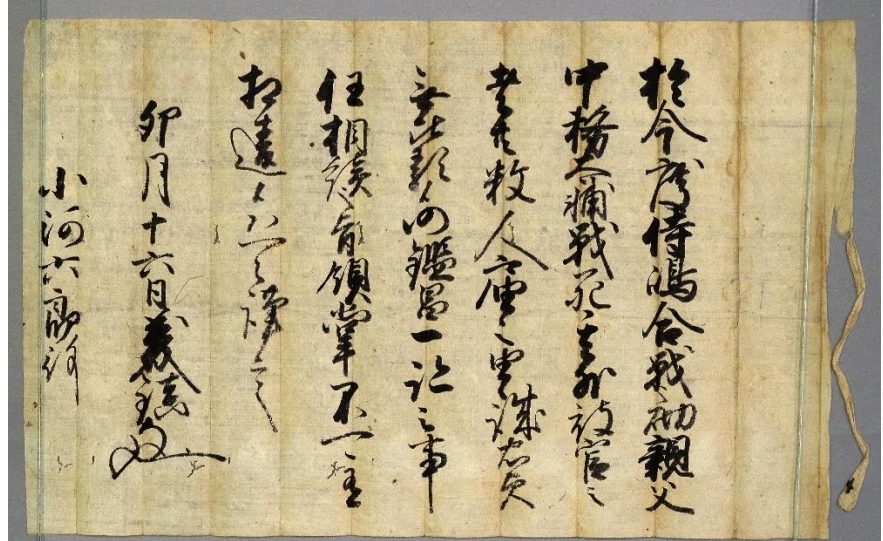
員数：20点

概要：筑後国竹野郡小河荘を本拠とした国人小河氏が大友氏から発給された中世文書 19 点及び近世に成立した小川天満宮の縁起 1 点からなる。史料が残りにくい中世国人層における地域支配の状況を明らかにする史料である。また、表装等が施されず、文書作成時の料紙の折り方や封式がそのまま残されており、古文書学上も貴重な史料である。

備考：福岡県指定文化財に指定されたことに伴い、久留米市指定文化財（有形文化財(古文書)、記号番号：古第 6 号）1 件が解除となった。



大友義鎮感状 封紙



大友義鎮感状

## （２）旧高良山大猷院殿石燈籠四基（市指定有形文化財）

指定年月日：令和 7 年 3 月 18 日

所在地の場所：久留米市本町 6 番地 3

所有者の氏名または名称：諏訪神社

時代：江戸時代前期 承応二年四月廿日（1653）

区分：有形文化財（歴史資料）

員数：4 基

法量：社殿前の燈籠は、地中に埋没する分を除き、高さ 210～240cm、基礎部幅 40～45cm、笠部直径約 80cmを測る。稻荷大明神前の燈籠は、地中に埋没する分を除き、高さ約 250～260cm、基礎部幅約 40～45cm、笠部直径約 90cmを測る。

概要：大猷院殿石燈籠は、元々高良山中に建立された大猷院殿内に建立されたものである。銘文から、2 代藩主有馬忠頼（「有馬中務少輔源朝臣忠頼」）を建立者とし、年紀は「承應二年癸巳四月廿日」、「大猷院殿」の「尊前」に 2 基、「祠堂前」に 2 基寄進されたことが判る。その後、明治元年（1868）の「神仏判然令」（神仏分離令）に伴い、現地に移転したと考えられる。





社殿前（旧大猷院殿尊前）



稲荷大明神前（旧大猷院殿祠堂前）

### （３）梅林寺境内の有馬家墓所石燈籠二十六基（市指定有形文化財）

指定年月日：令和 7 年 3 月 18 日

所在地の場所：久留米市京町 209 番地 1 江南山梅林寺境内

所有者の氏名または名称：宗教法人梅林寺 代表役員 東海大玄

時代：寛永 20 年（1643）～弘化 3 年（1846）

区分：有形文化財（歴史資料）

員数：26 基

法量：高さ約 210～220 cm。基礎部幅約 60～70 cm、竿部直径約 30 cm と規格性が高い。なお、本堂北側中庭の 1 基は高さ約 188 cm で、当時の石材は竿部のみ、それ以外は後補による。

概要：梅林寺境内の有馬家墓所石燈籠群は、その銘文から史跡久留米藩主有馬家墓所内に建立されていたことが判る。江戸前期の寛永 20 年（1643）に建立された初代藩主豊氏の石燈籠から、幕末の弘化 3 年（1846）に建立された 10 代藩主頼永の石燈籠まで、江戸時代を通して歴代藩主の石燈籠が良好に残る。江戸前期に遡る石燈籠の希少性と大名家墓所に関する石燈籠の意義、石燈籠群の編年的価値、さらに良好な保存状態から歴史資料としての価値が高い。



経蔵前



書院北側

## Ⅲ. 令和 6 年度の事業報告

### 1. 歴史ルートづくり事業

#### (1) 高良山総合調査

##### ①第 2 次調査「福聚寺所蔵歴史資料」(合川町、令和 2 年度～)

『久留米市文化財調査報告書第二十二集 慈雲山福聚寺所蔵品目録』(昭和 54 年) 以来の所在確認調査と、保存環境整備を実施している。令和 2 年度の古文書・墨跡(県補助)、令和 3 年度の絵画、令和 4・5 年度の陶磁器類に続き、令和 6 年度は金工類の調査を実施した。また、11 月 14 日(木)に第 4 回久留米藩祈願寺・慈雲山福聚寺の曝涼を実施した。

##### ②第 4 次調査「国分寺所蔵歴史資料」(宮ノ陣、令和 3 年度～)

九州歴史資料館との相互協力により、目録作成に向けて調査票の整理を行った。

##### ③第 5 次調査「御井寺所蔵歴史資料」(御井町、令和 6 年度～)

九州歴史資料館との相互協力により、彫刻を中心に調査を実施した。

この他に、九州歴史資料館令和 6 年度企画展「高良山の仏教美術」の開催及び関連講演会に協力した。

#### (2) 梅林寺歴史遺産群詳細調査

6 月から国庫補助事業として、宝蔵や庫裡などに保管されている古文書について悉皆調査を実施し、保存活用にあ資するための基礎台帳の作成に着手した。本調査は、令和 8 年度末までを予定している。

#### (3) 情報発信

令和 4 年度に認定された筑後川遺産第 1 号「城島酒蔵ものがたり」では、令和 7 年 2 月に開催されたイベント「城島酒蔵びらき」で地域と協働し展示を行った。また、第 2 号「田主丸・祭りの賑わう里～地域をつなぐSDGs」についても、リーフレットを作成するなど、地域と協働した活動をおこなった。また、残部僅少となった、ストーリーシート 4「軍の記憶」を再発行し、周知を図った。

#### (4) 久留米市文化財保存活用地域計画

令和 3 年 7 月に文化庁長官により認定を受けた本計画の推進に努め、アクションプランについては年度末に開催した久留米市文化財保存活用地域計画協議会にて進捗報告を行った。リーディングプロジェクトとして創設した筑後川遺産については申請団体と協働して情報発信を進め、「田主丸 祭りの賑わう里～地域をつなぐSDGs」の情報発信は申請団体である田主丸・未来創造会議へ委託することで、イベントやリーフレット作成を実施した。また、近世久留米の主要産業であり、景観としても現在に残る「櫓」について、筑後川遺産第 3 号として久留米市文化財保存活用地域計画協議会へ登録の諮問を行い、答申を受けた(令和 7 年 5 月 1 日登録)。

## 2. 筑後国府歴史公園整備事業

### (1) 公有化及び公有地管理

令和6年度は、公有化予定地4件の移転補償費の物件再算定調査3件、物件算定調査1件、測量調査1件、不動産鑑定4件を行った。また、公有化した指定地の除草など、管理事業も引き続き実施している。なお、令和7年3月現在の公有化面積は、40,159.89㎡（台帳及び実測面積）で、国・市有地を含めると公有化率は95.15%である。

### (2) 整備計画

令和6年度から2か年の国庫補助事業として、史跡筑後国府跡整備基本計画の策定を開始した。策定はコンサルタントに支援を委託し、有識者からなる指導委員会を3回開催した。

委員会では事務局が作成した計画書案を検討して意見をいただき、修正を加えることで策定を進めている。また、文化庁や県からもオブザーバーとして参加していただき、策定を進めている。

## 3. 歴史資料保存活用事業

### (1) 資料収集・保存・活用

令和6年度の資料の収集は、寄贈25件（4,923点）であった。

資料の活用は、貸出10件（55点）、印刷物掲載等65件（398点）、これ以外に研究利用等を目的とした閲覧39件を対応した。

### (2) 収蔵資料補修事業

資料名：「亡友書牘ぼうゆうしょとくノ一（戸田乾吉宛書簡集）」1巻（8通30紙）（A1994-040-古文書-0275）

資料概要：平成6年度に寄贈を受けた鶴久二郎コレクション（A1994-040-古文書）のうちの一つ。

幕末に活躍した久留米藩士・今井栄や松崎誠蔵などの書簡を卷子にしたもので、幕末久留米藩の歴史を知る手がかりとして貴重である。

補修内容：改修せずに卷子装として修理を行った。本紙は状態に応じて裏打ちをし、厚みを揃えて継いだ。表紙には染めて調整した補修紙をつけ、虫損箇所の補修を行った。八双竹、中軸、軸首、太巻芯、包裂を新調し、同じく新調した桐箱に収納した。

### (3) 六ツ門図書館展示コーナー

令和6年度は、2回の企画展を実施した。（次ページ表参照）

「新収蔵資料紹介コーナー」では、令和元年度以降の新収蔵資料を毎月展示替えしながら紹介。

また、六ツ門図書館展示コーナーに設営した昭和30年代の台所・居間を復元した「昭和のおうち」を活用し、小学3年生を対象とした見学の受け入れ（29校、56クラス、1,699人）を行った。

令和6年度の入場者数は、12,228人であった。

## 令和6年度展示会

No.	会期	展示会名	観覧者数
1	3月30日～6月23日	カメラがとらえた久留米の100年	2,250人
2	7月13日～9月8日	企画展「絵葉書で旅する近代久留米」	1,820人
3	7月13日～9月29日	パネル展「8・11久留米空襲の記憶を未来に語りつなぐ」	9/9～9/29 489人
4	9月21日～9月29日	パネル巡回展「南北朝・菊池一族」	(期間中472人) 3の人数に重複
5	10月5日～11月24日	考古資料展「石室を彩どる原始絵図」	1,459人
6	12月14日～3月16日	企画展「むかしのくらしー学校編ー」	4,087人
7	毎月	新収蔵資料紹介コーナー	—

### (4) 特別展「藍より出でて」

会 場：久留米市美術館1階ギャラリー

会 期：令和6年9月7日（土）～9月29日（日）※22日間

時 間：10時～17時（入館は16時30分まで）

休 館 日：9月9日（月）

入 場 料：無料

主 催：久留米市、久留米市教育委員会

共 催：久留米市美術館、公益財団法人久留米絣技術保存会

来場者数：2,974人

## 4. 発掘調査事業

### (1) 事前確認及び発掘調査

#### ①令和6年度の事前確認の概要

当該年度の事前確認件数は445件、試掘調査は104件である。確認件数は前年度比85.7%と大幅に減少し、過去20年間で観ても最低値を示している。この現象は、物価高騰および資材不足、建設業界における人手不足、人口の減少等、様々な要因により起こったものと考えられる。一方で、令和6年3月から、照会を要しない区域を一部インターネット上で公開していることも効果を表していると思われる。

照会の内訳は、民間開発が415件（93.3%）、公共事業が30件（6.7%）である。照会件数は大きく減少しているものの、民間開発と公共事業との比率は例年どおりの傾向を示している。また、公共事業では、近年相次ぐ水害に対応した防災事業が増加し、砂防ダムや調整池等、比較的大規模な事業がみられる。

#### ②発掘調査および整理作業

令和6年度に久留米市内で実施した発掘調査件数は10件（前年度からの継続事業1件を含む）

で、総調査面積は 5,650 m<sup>2</sup>であった。件数において前年度から 37.5%減少、面積比では 28.0%まで減少した。ただし、調査面積は継続調査だった益生田古墳群 14,400 m<sup>2</sup>を含まないため、これを含めた場合、前年度とほぼ同数値になる。調査面積は、平成 28 年度以降、継続調査であった益生田古墳群を除いて 2,000 m<sup>2</sup>～5,000 m<sup>2</sup>程度にとどまっている。これは、事前確認段階で保存のための協議を進め、調査による遺跡破壊の範囲を縮小していることに起因する。

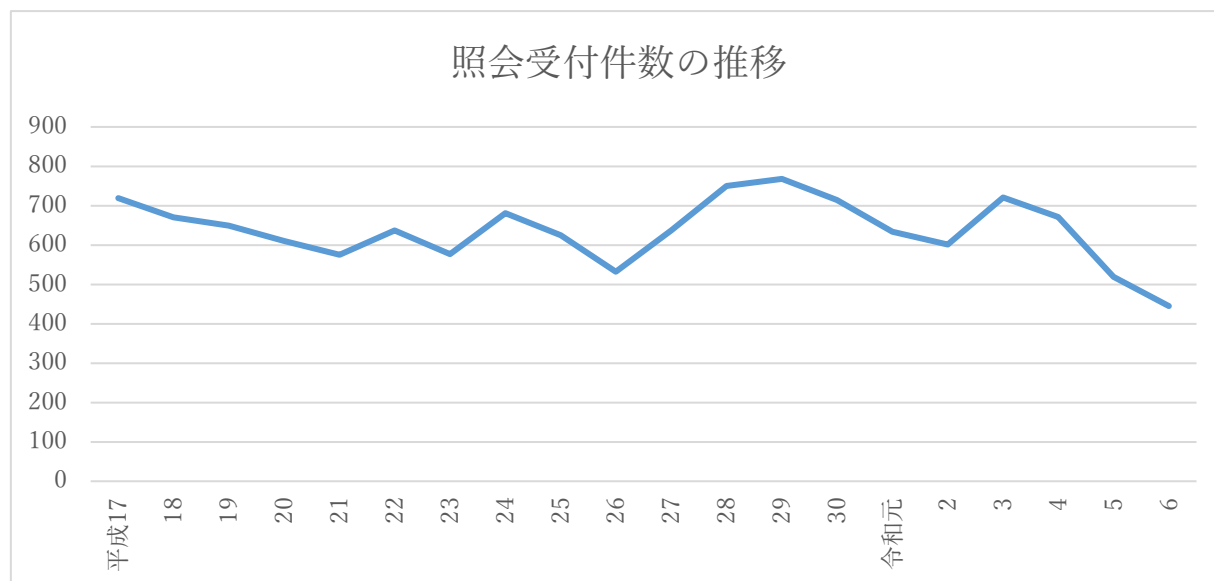
予算別の内訳は、国庫補助事業 6 件（益生田古墳群を含む）、公共受託事業 2 件、民間受託事業 2 件である。

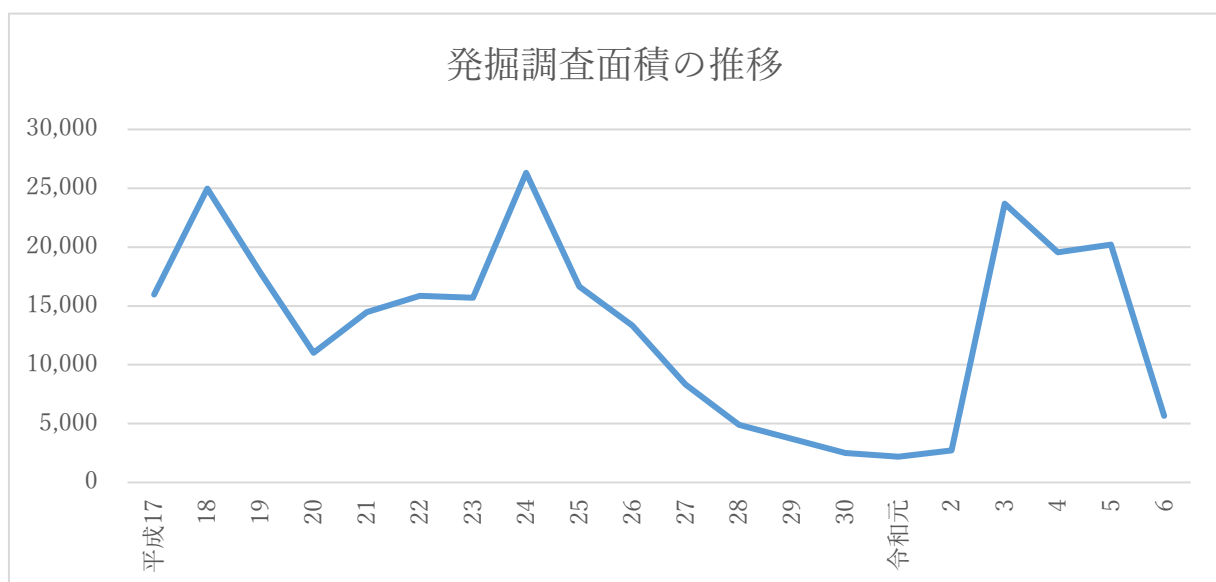
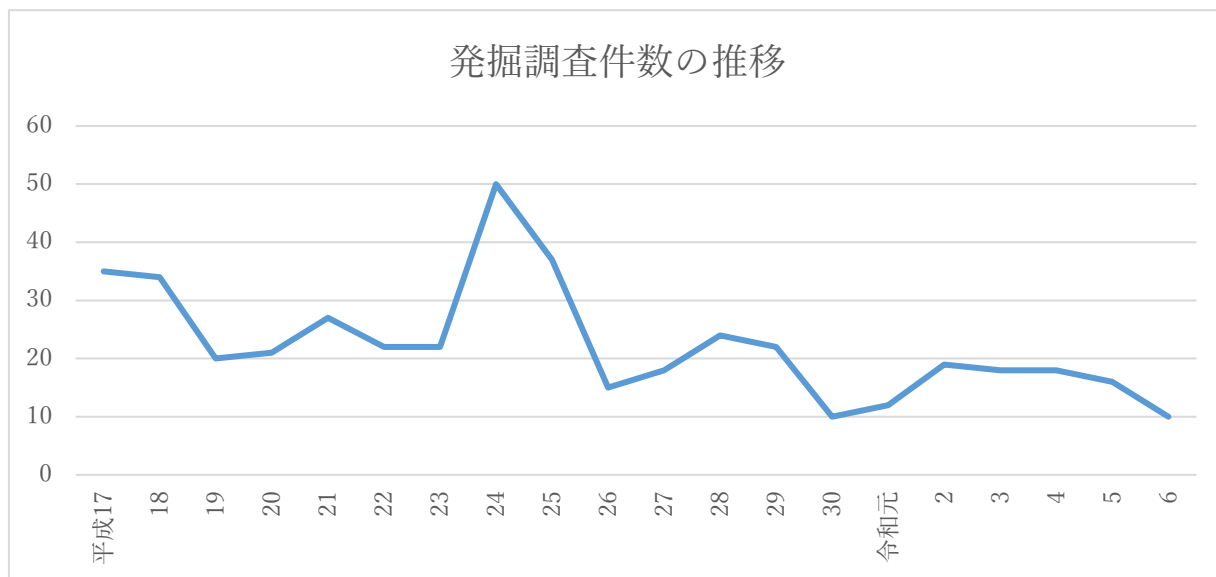
出土品整理作業については、埋蔵文化財センターと西町発掘調査整理事務所において実施した。西町発掘調査整理事務所では未報告の出土品整理を担当し、埋蔵文化財センターでは国庫補助事業である再整理事業を担当している。

また、膨大な作業の迅速化を図るため、民間調査支援機関への報告書作成部門の一部委託を平成 22 年度から継続的に実施している。令和 6 年度は安武三反野遺跡出土の甕棺を対象に復元・実測・写真撮影を行った。

年度	受付数	発掘調査	調査面積 (m <sup>2</sup> )
平成 17	719	35	15,978
18	670	34	24,962
19	649	20	17,819
20	610	21	11,026
21	575	27	14,468
22	637	22	15,849
23	577	22	15,705
24	681	50	26,314
25	625	37	16,651
26	532	15	13,332
27	637	18	8,314
28	750	24	4,908
29	768	22	3,707
30	714	10	2,501
令和元	634	12	2,187
2	601	19	2,733
3	721	18	23,698
4	671	18	19,555
5	519	16	20,204
6	445	10	5,650

平成 17 年度～令和 6 年度事前確認件数





## (2) 出土品再整理事業

昨年度に引き続き、久留米城下町遺跡第1次調査（三本松町）の遺物・台帳・写真整理を実施、2か年に及ぶ同遺跡の再整理作業を終了した。

## 5. 埋蔵文化財センター事業

令和6年度の入場者数は1,267名。令和5年度より448名増加した。これは新型コロナウイルス感染防止対策のため中止されていた生涯学習センター主催事業「マナビイランド」敷地内施設スタンプラリーが11月10日に再開され、1日で553名の来館者があったことによる。

令和6年度は、資料貸出6件（245点）、資料閲覧は9件（245点）、施設利用者は4件（57名）、資料印刷物掲載許可申請15件（58点）にそれぞれ対応した。

17 遺跡Ⅰ種遺物コンテナ 26 箱、2 種遺物コンテナ 37 箱の受入を行った（2 種資料は三潞収蔵庫へ搬入）。また、筑後国府跡の再整理作業を実施、城下町遺跡出土品のコンテナ収納法を見直し、遺物の集約作業を進めた。これにより棚 1 列分を集約し、収容力が向上した。

## 6. 歴史的建造物群保存整備事業

### （1）歴史的建造物群調査事業

令和 4 年度からの 3 か年事業として、草野町に所在する県指定文化財の須佐能袁神社について詳細調査を実施した。建造物の調査のほか、歴史資料などの調査も並行して行い、3 か年の調査成果を報告書として刊行した。

### （2）指定文化財の保存事業

重要文化財の高良大社について、補助事業として防蟻処理を実施した。また、県指定文化財の須佐能袁神社の屋根・小屋組み修理、市指定有形文化財の雪の聖母聖堂の経年劣化により腐朽が進んだ建具の修理も補助事業として実施し、指定文化財の保存に取り組んだ。

## 7. 史跡等環境整備事業

### （1）拠点管理（草刈り等）

所管する歴史公園や史跡の管理清掃、草刈り、樹木剪定を行い、市民が来園・来訪しやすい拠点づくりに取り組んだ。また、災害を未然に防ぐために、高良山神籠石指定地の樹木伐採や、国史跡「下馬場古墳」「中原狐塚古墳」「前畑古墳」の樹木伐採など、史跡の保護に取り組んだ。

### （2）説明板設置

市内に所在する史跡等の解説板について、老朽化により判読できないものなど 3 件について改修を行った。対象は、合川町所在の県指定史跡「市ノ上東屋敷遺跡」、および三潞町所在の「塚崎貝塚御廟塚」、城島町所在の「卍板碑」である。

### （3）名勝・天然記念物保存事業

県指定天然記念物「柳坂曾根のハゼ並木」剪定事業として、柳坂ハゼ並木保存会・福岡県立久留米筑水高等学校造園デザイン科と協力し、令和 7 年 2 月 17 日に剪定作業を実施した。

## 8. 文化財保護団体育成事業

### （1）文化財保護団体育成補助事業

文化財保護課では、地域の文化財を保護育成するため、文化財保護団体や地域活動団体等へ補助金を交付している。

令和 6 年度は、11 団体に補助金を交付した。

#### 1) 文化財保護団体（8 団体）

①大善寺玉垂宮鬼夜保存会                      重要無形民俗文化財「大善寺玉垂宮の鬼夜」管理団体

- |                |                             |
|----------------|-----------------------------|
| ②花火動乱蜂保存会      | 県指定無形民俗文化財「動乱蜂」管理団体         |
| ③北野天満神社神幸行事保存会 | 県指定無形民俗文化財「北野天満神社神幸行事」管理団体  |
| ④草野風流保存会       | 市指定無形民俗文化財「須佐能袁神社の神幸行事」管理団体 |
| ⑤高良山同志会        | 市指定無形民俗文化財「高良山獅子舞」管理団体      |
| ⑥御井町風流保存会      | 市指定無形民俗文化財「御井町風流」管理団体       |
| ⑦八丁島御供納保存会     | 市指定無形民俗文化財「八丁島の御供納」管理団体     |
| ⑧満月会保存会        | 市指定無形民俗文化財「十五夜さん大綱引き」管理団体   |

## 2) 研究会・文化財を活かした地域活動団体 (3 団体)

- ①久留米郷土研究会
- ②山川校区郷土研究会
- ③田主丸郷土会

## 9. 坂本繁二郎生家活用事業

令和 6 年度は、季節行事、体験事業を行うとともに貸室利用の促進に取り組んだ。

【実績】令和 6 年度 来館者数：4,025 人 貸室件数：19 件

### < 季節行事 >

七夕まつり	期間：令和 6 年 7 月 6 日（土）～8 月 6 日（火） 内容：願い事を書いた短冊を笹竹に飾る
ひなまつり	日時：令和 7 年 1 月 27 日（月）～3 月 24 日（月） 内容：坂本家に伝わる雛人形の展示

### < 体験事業 >

茶レンジこども茶会	期間：令和 6 年 7 月 28 日（日） 内容：市内小学生を対象にお茶の作法を学ぶ
中秋落語寄席	期間：令和 6 年 9 月 28 日（土） 内容：庭園を紙灯籠でライトアップし、落語、講談を行う
餅つき大会	期間：令和 6 年 12 月 14 日（土） 内容：市内小学生を対象に餅つきを行う

## 10. 有馬記念館活用整備事業

展示会名	概要	入場者数
平常展：大名有馬家と久留米城下町	期間：令和 6 年 4 月 20 日（土）～ 同 7 年 4 月 7 日（月） 内容：歴代藩主の足跡や城下町に住む人々の暮らしぶりを紹介。会期中、2 回の展示替えを行った。	2,693 名
企画展：江戸時代の人々とくらしー久留米市新収蔵資料公開	期間：令和 6 年 10 月 19 日（土）～ 同 7 年 1 月 13 日（月） 内容：久留米市が令和 4・5 年度に収集した江戸時代の歴史資料や、令和 4 年度に修理が完了した掛け軸を紹介。	1,253 名



## 11. その他事業

### (1) 出前講座

市民向け講座として実施している「出前講座」は、全庁的に取り組んでいる制度で、文化財保護課では「私のまちの歴史と文化財」、「歴史のまち久留米」の取組み および「歴史を体験」の3つのメニューを担当。計51回の出前講座を実施した。

メニュー名	開催回数	受講人数	主な内容
私のまちの歴史と文化財	42回	1,456人	校区の歴史、久留米市の歴史、また個別テーマを設けて講座を開催した。
「歴史のまち久留米」の取組み	2回	315人	「久留米市文化財保存活用地域計画」を基に「歴史のまち久留米」について地域とともに考えた。
歴史を体験	7回	205人	小学校の土曜塾が主なもので、勾玉づくり、石臼体験を開催した。

### (2) 歴史探訪

タイトル：久留米城下を歩くー有馬記念館企画展「江戸時代の人々とくらし」

日 時：令和6年11月16日(土) 9時から12時まで

参加人数：18人

### (3) からくり儀右衛門大賞

久留米市美術館で開催の「久留米市理科作品展」に出品された創作作品の中から、優れた作品を「からくり儀右衛門大賞」（久留米市長賞・久留米市教育長賞・久留米工業大学賞）として10作品を選考した。選考作品は市のホームページ・LINEで公開し、受賞者へは在籍校ごとに表彰を行った。

## 12. 刊行物

### (1) 久留米市文化財調査報告書

令和6年度は8冊の文化財調査報告書を刊行した。

- ・久留米市文化財調査報告書第454集『安武地区遺跡群4』
- ・久留米市文化財調査報告書第455集『令和6年度久留米市内遺跡群』
- ・久留米市文化財調査報告書第456集『鬼木遺跡 - 第3次発掘調査報告 - 』
- ・久留米市文化財調査報告書第457集『へボノ木遺跡 - 第76次発掘調査報告 - 』
- ・久留米市文化財調査報告書第458集『筑後国府跡 - 第315次発掘調査報告 - 』
- ・久留米市文化財調査報告書第459集『御供田遺跡 - 第2～4次発掘調査報告』
- ・久留米市文化財調査報告書第460集『京隈侍屋敷遺跡 - 第32・33次調査報告 - 』
- ・久留米市文化財調査報告書第461集『須佐能袁神社建造物調査報告書』

### (2) その他の刊行物

- ・収蔵館ニュース 第21号

## IV. 令和 7 年度の事業概要

### 1. 歴史ルートづくり事業

#### (1) 高良山総合調査

##### ①第 2 次調査「福聚寺所蔵歴史資料」(合川町、令和 2 年度～)

『久留米市文化財調査報告書第二十二集 慈雲山福聚寺所蔵品目録』(昭和 54 年)以来の所在確認調査と、保存環境整備を実施している。令和 2 年度の古文書・墨跡(県補助)、令和 3 年度の絵画、令和 4・5 年度の陶磁器類、令和 6 年度の金工類に続き、令和 7 年度は漆工品の調査を行うとともに、11 月頃に久留米藩祈願寺・慈雲山福聚寺の曝涼を実施予定である。また、調査成果の中間報告を兼ねて、10 月 18 日～令和 8 年 1 月 12 日に有馬記念館企画展「久留米藩主祈願寺 慈雲山福聚楽寺」を開催する。

##### ②第 4 次調査「国分寺所蔵歴史資料」(宮ノ陣、令和 3 年度～)

九州歴史資料館との相互協力により、目録作成に向けて調査票の整理を行う。

##### ③第 5 次調査「御井寺所蔵歴史資料」(御井町、令和 6 年度～)

九州歴史資料館との相互協力により、彫刻を中心に調査を実施する。

また、高良大社が令和 7 年度文化財保存活用事業の一環として実施する高良大社宝物館の特別公開などへの助言・支援を行う。

#### (2) 梅林寺歴史遺産群詳細調査

令和 6 年 6 月から国庫補助事業として実施している、梅林寺所蔵古文書調査の 2 年目にあたる。本調査は、宝蔵や庫裡などに保管されている古文書について悉皆調査を実施し、保存活用に資するための基礎台帳を作成することを目的とし、令和 8 年度末までを予定している。

#### (3) 情報発信

令和 4 年度に認定された筑後川遺産第 1 号「城島酒蔵ものがたり」、第 2 号「田主丸・祭りの賑わう里～地域をつなぐSDGs」については、地域と協働した展示・イベントを予定しており、各構成団体と共に周知を図る予定である。また、5 月 1 日付で登録した、筑後川遺産第 3 号「櫓の道」については、ストーリーシート等を作成し周知を図る予定である。

#### (4) 久留米市文化財保存活用地域計画

令和 7 年度は本計画の策定から 5 年目にあたるため、計画に記載した中間見直しを行う。見直し結果は、計画期間後半期の事業が効率的・効果的に推進できるように反映させる。

また、令和 6 年度に登録答申があった筑後川遺産第 3 号「櫓の道」を 5 月 1 日付で登録した。令和 7 年度は筑後川遺産第 4 号の登録を目指し、申請団体と協議を進めていく。

## 2. 筑後国府歴史公園整備事業

### (1) 公有化及び公有地管理

令和7年度は、3件の土地公有化を実施する予定である。また、公有化した指定地の除草など、管理事業も引き続き実施する。

### (2) 整備計画

令和6年度からの2か年事業として取り組んでいる史跡筑後国府跡整備基本計画の策定を進める。本年度も3回の指導委員会を開催し、有識者の意見を踏まえながら策定を進めるとともに、国・県や議会、地域住民などからも意見をいただくことで、本計画を完成させる。

## 3. 歴史資料保存活用事業

### (1) 資料収集・保存・活用

久留米文化財収蔵館を中心に、博物館資料の調査・収集・保存・活用を進めていく。

資料の活用は、貸出、印刷物掲載等、これ以外に研究利用等を目的とした閲覧や写真撮影に対応する。

### (2) 収蔵資料補修事業

資料名：「(仮) 戸田乾吉宛書簡集」1巻(9通27紙)(A1994-040-古文書-0276)

資料概要：幕末から明治にかけて活躍した儒学者・広瀬曲巷や佐田白茅などの書簡を卷子にしたもので、幕末久留米藩の歴史を知る手がかりとして貴重である。

補修内容：改修せずに卷子装として修理を行う。本紙は状態に応じて裏打ちをし、厚みを揃えて継ぐ。表紙には、染めて調整した補修紙をつけ、虫損箇所の補修を行う。八双竹、中軸、平紐、太巻芯、包裂を新調し、同じく新調した桐箱に収納する。

### (3) 六ツ門図書館展示コーナー

令和7年度は、2回の企画展を実施予定である。(下表参照)

「新収蔵資料紹介コーナー」では、令和元年度以降の新収蔵資料を毎月展示替えしながら紹介。

また、六ツ門図書館展示コーナーに設営した昭和30年代の台所・居間を復元した「昭和のおうち」を活用し、小学3年生を対象とした体験学習の受け入れを行う。

令和7年度展示会

No.	会期	展示会名
1	3月30日～6月23日	カメラがとらえた久留米の100年
2	7月19日～9月7日	企画展「8.11久留米空襲を語りつなぐ」
3	9月27日～11月23日	カメラがとらえた久留米の100年 鉄道編(仮)
4	12月13日～3月15日	企画展「むかしのくらし」(仮)
5	毎月	新収蔵資料紹介コーナー

## 4. 発掘調査事業

### (1) 事前確認及び発掘調査

#### ①事前確認

窓口対応を含め、事前確認の照会件数は前年度同様の件数を対応することが想定される。

民間の開発に伴う「埋蔵文化財包蔵の有無について」の照会文書の提出は、専用住宅・共同住宅建築に係る照会が一定の割合を占めるが、宅地造成、店舗建設に係る照会も増加傾向が伺える。

また、公共事業では、国・福岡県・久留米市で予定されている各種開発事業に伴う埋蔵文化財の有無およびその取り扱いについて事前に協議を進め、必要に応じて試掘及び確認調査などの対応を行っている。

#### ②発掘調査事業

発掘調査件数は減少傾向を示し、とりわけ民間開発に伴う発掘調査が減少する中、筑後国府跡や久留米城本丸跡における、保存のための調査を実施している。公共事業では、自然災害に伴う大規模事業（砂防ダム・調整池等）や新設道路（主要地方道久留米柳川線・主要地方道瀬高久留米等）、藤光東部産業団地等が計画されているため、これらに伴う発掘調査が想定される。

令和7年度発掘調査予定一覧表（令和7年6月1日現在）

調査番号	遺跡名	調査 回数	調査期間	調査原因	事業種別	調査面積 (㎡)	担当者
202406	塚畑遺跡	006	20241201－調査中	道路	公共受託		西
202407	筑後国府跡	318	20250114－6月初予定	確認調査	国庫補助		廣木
202501	石丸遺跡	009	20250407－20250422	専用住宅	国庫補助	15	河野
202502	筑後国府跡	319	20250416	専用住宅	国庫補助	2	小川原
202503	筑後国府跡	320	20250424－6月末予定	確認調査	国庫補助	69	長谷川
202504	筑後国府跡	321	20250526－20250529	確認調査	国庫補助		小川原
調査予定	筑後国府跡	322	調整中	店舗	民間受託		調整中
調査予定	久留米城本丸跡	004	調整中	確認調査	国庫補助		小川原
調査予定	清長橋古墳群	002	調整中	災害復旧	緊急調査		江島

#### ③整理作業

出土品整理作業については、埋蔵文化財センターと西町発掘調査整理事務所において実施する。前年度に調査した遺跡や継続して調査を実施している公共事業を中心に整理作業を実施するが、一部の作業を民間調査支援機関に委託を予定している。

### (2) 出土品再整理事業

本年度より、平成元年度から2年度にかけて発掘調査を実施した道蔵遺跡第8次調査（大善寺町中津）の遺物・台帳・写真整理を実施する。合わせて筑後国府跡の再整理作業を進め、本年度はⅢ期政庁・在国司館地区の報告書を刊行する予定である。

## 5. 埋蔵文化財センター事業

令和7年度は、館内での作業として、令和6年度報告書刊行遺跡出土品・図面・写真等の受入・収納作業を行うと共に、過年度調査遺跡出土品のコンテナ収納状況の再点検を進め、遺物保管スペースの集約を図る。

現在玄関ホール及び展示室にて行っている展示については、玄関ホール展示ケース、および常設展示のうち、古代・近世部門について展示替えを行う予定である。

その他、資料貸出・閲覧・印刷物掲載許可申請に随時対応している。また、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所が運営する「全国文化財総覧」（旧称「全国遺跡報告総覧」）への刊行報告書のデータ掲載も進める。

## 6. 歴史的建造物保存整備事業

### （1）歴史的建造物等調査事業

高良山中に所在する蓮台院の門2棟について調査を実施する。調査は配置図、平面図、断面図を作成し、近世高良山の中心地であった蓮台院に関する歴史的建造物の保存活用を図る。また、本市出身の建築家・菊竹清訓の初期作品である橿原町所在のくるめっ子館（旧市長公舎）、久留米大学本館附属渡り廊下について調査を進める予定である。

### （2）指定文化財の修復事業

重要文化財高良大社について、拝殿建具の修理を補助事業として実施する。また、県指定有形文化財である上野家住宅御成間（山本町）の屋根修理（トタン塗装）、伯東寺輪蔵（田主丸町）を収める経蔵の建具修理を補助事業として実施する。

## 7. 史跡等環境整備事業

### （1）拠点管理（草刈り等）

所管する歴史公園や史跡の管理清掃、草刈り、樹木剪定を行い、市民が来園・来訪しやすい拠点づくりに取り組む。また、災害を未然に防ぐために、高良山神籠石指定地の樹木伐採や、国史跡「下馬場古墳」「中原狐塚古墳」「前畑古墳」の樹木伐採など、史跡の保護に取り組む。

### （2）説明板設置

市内に所在する史跡等の解説板について、老朽化により判読できない国指定天然記念物「水縄断層」、県指定有形文化財「石浦大橋」2件について改修を行うを予定である。

### （3）名勝・天然記念物保存事業

県指定天然記念物「柳坂曾根のハゼ並木」剪定事業として、例年1月下旬から2月上旬に地元と協力を図り、剪定作業を行う予定である。

## 8. 文化財保護団体育成事業

### (1) 文化財保護団体育成補助事業

文化財保護課では、地域の文化財を保護育成するため、文化財保護団体や地域活動団体等へ補助金を交付している。

令和7年度は、11団体に補助金を交付予定である。

※重複団体は1団体として計算

#### 1) 文化財保護団体 (7団体)

- |                |                            |
|----------------|----------------------------|
| ①大善寺玉垂宮鬼夜保存会   | 重要無形民俗文化財「大善寺玉垂宮の鬼夜」管理団体   |
| ②花火動乱蜂保存会      | 県指定無形民俗文化財「動乱蜂」管理団体        |
| ③北野天満神社神幸行事保存会 | 県指定無形民俗文化財「北野天満神社神幸行事」管理団体 |
| ④高良山同志会        | 市指定無形民俗文化財「高良山獅子舞」管理団体     |
| ⑤御井町風流保存会      | 市指定無形民俗文化財「御井町風流」管理団体      |
| ⑥八丁島御供納保存会     | 市指定無形民俗文化財「八丁島の御供納」管理団体    |
| ⑦満月会保存会        | 市指定無形民俗文化財「十五夜さん大綱引き」管理団体  |

#### 2) 研究会・文化財を活かした地域活動団体 (3団体)

- ①久留米郷土研究会
- ②山川校区郷土研究会
- ③田主丸郷土会

#### 3) 用具修理等 (2団体)

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| ①花火動乱蜂保存会       | 紅白幕老朽化による新調 |
| ②若宮八幡宮御神幸祭実行委員会 | 太鼓修理        |

## 9. 坂本繁二郎生家活用事業

令和7年度は、季節行事、体験事業を行うとともに貸室利用の促進、来館者増加に取り組む。

### <季節行事> 実施予定

七夕まつり	期間：令和7年7月上旬～8月上旬予定 内容：願い事を書いた短冊を笹竹に飾る
ひなまつり	日時：令和8年1月末～3月末予定 内容：坂本家に伝わる雛人形の展示

### <体験事業> 実施予定

茶レンジこども茶会	期間：令和7年夏休み期間中 内容：市内小学生を対象にお茶の作法を学ぶ
中秋落語寄席	期間：令和7年9月下旬予定 内容：庭園を紙灯籠でライトアップし、落語、講談を行う
餅つき大会	期間：令和7年12月上旬予定 内容：市内小学生を対象に餅つきを行う

## 10. 有馬記念館活用整備事業

展示会名	概要
平常展：大名有馬家と久留米城下町	期間：前期：令和7年4月26日(土)～9月29日(月) 後期：令和8年1月24日(土)～4月6日(月) 内容：歴代藩主の足跡や城下町に住む人々の暮らしぶりを紹介。会期中、2回の展示替えを行う。
特集展示	期間：平常展と同時開催 内容：篠山神社の歴史資料や久留米藩関連の新出資料を公開。
企画展：「久留米藩主祈願寺 慈雲山福聚寺」	期間：令和7年10月18日(土)～令和8年1月12日(月) 内容：慈雲山福聚寺の歴史とともに、伝来してきた数々の名品を紹介。

## 11. その他事業

### (1) 出前講座

市民向け講座として実施している「出前講座」は、全庁的に取り組んでいる制度で、文化財保護課では「私のまちの歴史と文化財」、「筑後川遺産を学ぶ」および「歴史を体験」の3つのメニューを担当している。

メニュー名	主な内容
私のまちの歴史と文化財	校区コミュニティセンターの委嘱学級や市民団体を対象に、校区の歴史、久留米市の歴史、また個別テーマを設けて講座を開催する。
筑後川遺産を学ぶ	令和6年度に実施した「「歴史のまち久留米」の取組み」を改題し、校区コミュニティセンターの委嘱学級や企業、市民団体を対象に、「久留米市文化財保存活用地域計画」を基に「歴史のまち久留米」について地域とともに考える。
歴史を体験	小学校の土曜塾が主なもので、勾玉づくり、石臼体験を開催する。

### (2) からくり儀右衛門大賞

久留米市美術館で開催予定の「久留米市理科作品展」に出品される創作作品の中から、優れた作品を「からくり儀右衛門大賞」(久留米市長賞・久留米市教育長賞・久留米工業大学賞)として選考する。選考作品は市のホームページ・LINEで公開し、受賞者へは在籍校ごとに表彰する。

## 12. 刊行物

### (1) 久留米市文化財調査報告書

- ・久留米市文化財調査報告書第462集『筑後国府跡 - 第318次調査報告 - 』
- ・久留米市文化財調査報告書第463集『安武地区遺跡群5』
- ・久留米市文化財調査報告書第464集『令和7年度久留米市内遺跡群』
- ・久留米市文化財調査報告書第465集『久留米城下町遺跡 - 第32次発掘調査報告 - 』
- ・久留米市文化財調査報告書第466集『筑後国府跡 - 第316次発掘調査報告 - 』

- ・久留米市文化財調査報告書第 467 集『筑後国府跡 - 第 317 次発掘調査報告 - 』
- ・久留米市文化財調査報告書第 468 集『二本木遺跡 - 第 32 次調査報告 - 』
- ・久留米市文化財調査報告書第 469 集『高三潞遺跡 - 第 3・4・13 次調査報告 - 』
- ・久留米市文化財調査報告書第 470 集『筑後国府跡 - III 期政庁地区発掘調査報告 - 』（上・下巻）

## （２）その他の刊行物

- ・収蔵館ニュース 第 22 号
- ・歴史のまち久留米 ストーリーシート 12（筑後川遺産関連）
- ・歴史遺産マップ（城島地区）